

第3回臨時会

(会期：令和2年10月20日)

議決した案件

●決算案…3件 ●その他…2件
(●賛成多数可決…5件)

Pick Up

令和元年度決算を認定

市の令和元年度決算（一般会計、各特別会計、水道事業会計）を認定しました。水道事業会計では、今後老朽化が進む施設の更新に備え、発生した利益を積み立てることについても可決しました。

○一般会計

歳入 827億9,263万6千円
歳出 775億1,497万3千円

○特別会計（16会計）

歳入 309億6,097万6千円
歳出 308億2,626万4千円

【主要な施策の成果】

- ①仕事づくり 産業イノベーション創出拠点の開設 【4,683万円】
次世代農業の担い手育成 【2,584万円】
- ②暮らしづくり 新*モビリティサービスの実証実験の実施 【1,569万円】
八本松駅前の土地区画整理 【1億2,571万円】
- ③人づくり 小中学校へのタブレット配備等 【2億2,247万円】
学生等の創業・定住支援 【588万円】
- ④活力づくり 美術館建築と周辺整備 【14億1,550万円】
(仮称)道の駅西条の整備 【1億6,784万円】
- ⑤安心づくり 待機児童対策（保育士・受け皿の確保） 【2億4,797万円】
地域医療支援病院の機能強化 【6,699万円】

議会からの主な指摘・要望事項

決算の審査を通して、市が令和元年度に実施した事業の課題等を整理しました。審査結果を踏まえ、国・県への財政支援の要望を含め、健全で持続可能な財政運営を行うための財源の確保や、市民にサービスを提供する上で欠かせない職員の確保・適正配置・育成等、執行体制の見直しに取り組むよう、市に要望しました。

【個別の要望事項】

- 未執行の新規事業が散見されたため、着実な事務執行に向けて課題の整理と検証を行うこと
- 平成30年7月豪雨災害の復旧完了を見据え、実施を見送っていた事業を計画的に進めること
- 妊娠・出産・育児支援の切れ目ないサービス提供と相談支援拠点の設置を推進すること
- 地域共生の観点から、障害特性に対する企業の理解を深め、就労支援に努めること
- 特別支援学級への教育補助員の配置・通常学級への学校教育支援員の配置を進め、併せて特別支援教育サポーターの配置を推進すること
- マイナンバーカードに付与する用途の拡大等、取得のメリットを増やす検討を行うこと
- ビジネスサポートセンターHiirBizを一層充実させること
- 道路等のインフラ施設の整備・更新・修繕を計画的かつ効果的に推進すること

*モビリティサービス 自動車による移動や運搬をスムーズに行うためのサービスのこと。

本会議の討論

議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号▶		議案第202号	議案第203号	議案第204号	議案第207号	議案第208号
会派名	議員名					
創生会	片山 貴志	○	○	○	○	○
	岩崎 和仁	○	○	○	○	○
	坪井 浩一	○	○	○	○	○
	加藤 祥一	○	○	○	○	○
	鈴木 利宏	○	○	○	○	○
清新の会	貞岩 敬	○	○	○	○	○
	北林 光昭	○	○	○	○	○
	重森佳代子	○	○	○	○	○
	乗越 耕司	議	議	議	議	議
	池田 隆興	○	○	○	○	○
創志会	岡田 育三	○	○	○	○	○
	大道 博夫	○	○	○	○	○
	玉川 雅彦	○	○	○	○	○
	奥谷 求	○	○	○	○	○
公明党	坂元百合子	○	○	○	○	○
	加根 佳基	○	○	○	○	○
	竹川 秀明	○	○	○	○	○
令和会	鈴木 英士	○	○	○	○	○
	牛尾 容子	○	○	○	○	○
	田坂 武文	○	○	○	○	○
市民クラブ	景山 浩	○	○	○	○	○
	中川 修	○	○	○	○	○
	石原 賢治	○	○	○	○	○
政友会	重光 秋治	○	○	○	○	○
	山下 守	○	○	○	○	○
	牧尾 良二	○	○	○	○	○
日本共産党	谷 晴美	×	×	×	×	
真政倶楽部	宮川 誠子	○	○	○	○	
広友会	上田 廣	○	○	○	○	

※「議」は議長「○」は賛成「×」

●議案第202～204号(令和元年度東広島市歳入歳出決算の認定について、令和元年度東広島市水道事業会計決算の認定について、処分及び決算の認定について)

反対 谷 晴美議員

本市は、小さな政府から大きな政府に大転換し、公助のため、基金を取り崩し、市民の暮らし、

命を支えなければならぬ。また、消費税の増に伴う水道料金、下水道使用料の値上げは市民に負担を押し付けるものであるため、反対する。

賛成 景山 浩議員

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興などの影響があったが、全般的に第五次東広島市総合計画につながる予算執行であった。今後※SDGs未来都

市に向けさらなる施策の推進のため決算を認定するべきとの考えから、賛成する。

●議案第207号(請負契約の締結について(志和中・(仮称)志和小学校増築工事及び大規模改造工事))

反対 谷 晴美議員

小さな学校の大切さが見直されており、コロナ後の教育のあり方を市民に説明する必要がある。また、中学校の改修を含む20億円の大事業であるが、99.9%の入

札率での落札は競争性があったとは言えないと判断し、反対する。

●議案第208号(委託契約の変更について(一般国道2号「道の駅 西条」(仮称)整備事業に伴う整備工事))

反対 谷 晴美議員

道の駅で計画している農林水産物の販売は、ドライブスルー方式を導入した市場などを参考に、既存の施設を活かすべきである。不要不急のハコモノ建設と判断し、反対する。

委員会審査概要

決算特別委員会

●議案第202号（令和元年度歳入歳出決算の認定）

Q 職員の時間外労働について、増加傾向が続いているが、その原因は何か。

A 災害復旧関係の事務が影響していると考ええる。ただ、直接的に災害復旧事業に関係ない部署でも慢性的に増加傾向が見られる部分がある。いずれにしても人員配置、業務の効率化については課題が残っていると考えており、引き続き改善に努めたい。

Q 発達障害への対応などが求められているが、市としての現状認識はどのようなものか。

A 発達障害への対応は増加してきており、できる限り早期に療育につなげていきたいと考えている。今年度の事業で発達障害に関するセミナーを開催する予定としており、発達障害とは具体的にどういふものか、基礎的な理解の促進から取り組んでいきたい。

Q マイナンバーカードは、令和元年度までの交付率が19・7%で、平成30年度から令和元年度にかけては3%伸びているが、このペースで国が目標として示す令和5年度までにマイナンバーカードを大半の国民が持つという状況となるのか。

A 昨年度、交付計画を全国の市町村で作成しており、本市の目標は普及率30%である。今後は、市全体でマイナンバーカード保有の利点につな

がる取り組みについての検討課題を共有していきたい。



Q 災害復旧事業の優先により、インフラ施設整備で進度調整を行っている事業の見直しはどうかしているのか。

A 今年度中にもまず災害復旧事業の工事全てに関して発注を済ませたい。通常事業については、災害復旧事業の進捗度合いを見ながら、一定程度の進捗を図っていききたいと考えている。

●議案第203号（令和元年度水道事業会計利益の処分と決算の認定）

Q 水道事業の職員の生産性について、他団体と比べると、職員数、経験年数とも少なく時間外労働が多いのではないか。

A 水道局の技術職員は、他市と比較し少ない。今後、技術職員を確保し、研修を実施していく必要があると考えている。

●議案第204号（令和元年度下水道事業会計決算の認定）

Q 下水道未普及解消整備計画の進捗はどのようなになっているのか。

A 災害対応等により、遅れが出ているが、数年かけて遅れを取り戻していく。